

事業者の皆さまへ

ワクチン接種を希望する人に対して、ワクチン接種や副反応に伴う休暇や就業時間の調整などにご配慮いただきますようお願いします。

また、ワクチン接種によって感染を100パーセント予防できるものではありません。引き続き、感染予防対策を行ってください。

若い世代の接種率低迷

全国的な傾向として若年層の接種率が低くなっています。表面の「コロナワクチンの接種状況」のとおり、富士市も30歳代以下の接種率が低くなっています。今後、接種率の低い若者世代の感染拡大が危惧されます。

また、若者であっても新型コロナウイルスを発症すると、症状が重くなる例や後遺症に悩まされる例が報告されています。

新型コロナワクチンを接種することで発症や重症化を予防する効果があり、変異株についても世界の各地でワクチンの有効性について確認が進められています。

あなたの周りの大切な人を守るためにも、接種を受けることが可能な人は、早めの接種をご検討ください。

副反応が起こることがあります

接種後は、注射した部分の痛みや腫れ、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、悪寒、発熱等の副反応が起こることがあります。ほとんどは1~2日で症状は和らぎます。

副反応の症状が強くなる場合、静岡県が設置した「副反応相談窓口」をご利用ください。

静岡県副反応相談窓口 ☎050-5445-2369

9:00~22:00 (土・日曜日、祝休日も可)

ワクチン接種は強制ではありません

接種を望まない人に接種を強制することはあります。予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスク双方について理解した上で、本人の同意のもと接種を行います。

本人が望まない場合には、接種しないことを選択することができます。

病院・診療所での接種

集団接種と同様、基本的には10月末までに1回目のワクチン接種を終了していきます。

終了時期は、病院・診療所によって異なりますので、ご確認ください。

12歳から15歳までの人の接種

富士市では、12歳から15歳までの接種については、接種券に同封しました「予診票」に保護者の署名が必要です。また、接種当日は、原則として保護者の同伴が必要です。

体調や持病についての医師の問診や、接種後に副反応が起きた場合の対応などを、子ども本人・保護者ともにご理解いただくため、同伴をお願いしています。



◆注意事項や副反応などの
関連情報はこちらから



今後のワクチン接種

日本では、新型コロナウイルスワクチンを接種することができるのは、12歳以上です。

これから12歳を迎える人や、未接種の人で、今後ワクチン接種を希望される人への接種体制については、実施方法を検討していますので、決まり次第、随時、市ウェブサイトなどでお知らせしていきます。

接種会場における注意点

- ▶ 予診票は事前にご記入ください。
- ▶ 接種会場には、必ず不織布マスクを着用してお越しください。
- ▶ 集団接種会場（公共施設）におけるワクチン接種の受付時間は、予約した接種時間の15分前から15分後までの30分間です。

～例え～

予約時間が19時~19時30分の場合、
受付時間は18時45分~19時15分。

※この場合、19時15分を過ぎるとキャンセル扱いになるので、ご注意ください。

